

学校運営協議会便り

平成 29 年 10 月 5 日

第 5 号



第 5 回運営協議会 次第

1. 代表あいさつ
2. 学校長あいさつ
3. 教育委員会あいさつ
4. サマーワークショップ報告
5. 学校評価項目について
6. 次回の予定について

気候も良くなり、子ども達も落ち着いて生活ができる季節になりました。ただ、寒暖差も激しくなるので体調には十分気を付けてください。

今回、運営協議会ではサマーワークショップや理科実験、アンケートや ITC など様々な話が出ました。中でも「文字を丁寧に書いている」という項目から、「ていねい」ということについてお話があり、委員の皆さんの共感も得、今だからこそとても大切なこと。と感じましたので紹介いたします。

●「ていねい」というものは他の全ての行動に関係すると思います。丁寧に歌を歌う、丁寧に運動する、丁寧に意見を述べる、丁寧に読書をする、丁寧に挨拶をする。文字を丁寧に書くというのもその一つ。何をするにしてもひとつひとつ「ていねい」にすることで必ず人の心に響くのではないかと、自分も変わっていくのではないかと思います。

●「ていねい」「わざわざ」、しなくてもいいことをする。それは日本文化の原点ではないかと思えます。普段の生活の中で大切にしていきたいと思えます。

●子どもが殴り書きしているのを見て、“字が汚いのは仕方がないけど、丁寧に書けば必ず気持ちは伝わるものだから、丁寧に書くようにしなさい”と教えている。

普段見逃しがちな丁寧さ。相手への思いやり、ということにも繋がっていくのではないのでしょうか。子ども達にも目に見えないものも大切にできるように学んでいって欲しいと思えます。